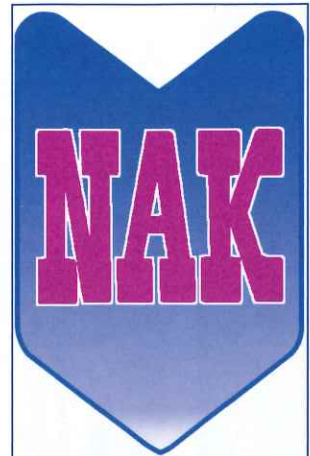


# ヘッドライト



9・10月号

発行

一般社団法人  
奈良県安全運転管理者協会  
奈良県橿原市葛本町159番地  
TEL 0744(23)1370

発行人

芝田 和浩  
定価 1部 250円  
(会員の購読料は会費に含む)

編集

企業開発センター  
交通問題研究室

2022年  
交通安全年間スローガン

おじいちゃん  
今度は僕が  
乗せる番

## 更なる安全運転管理者業務の 適切な推進

奈良県警察本部交通部参事官

森田 圭一

皆様には、平素から事業所における交通安全活動や地域の交通安全に御尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当県の上半期の交通事故情勢については、昨年の同時期と比較して、人身交通事故件数や負傷者数は減少しているものの、死者数は7人増加の17人と危機的な状況となっております。特に、交通死亡事故にあっては、約4割が歩行中の事故であり、そのほとんどが薄暮又は夜間に発生しております。一方、近年の交通事故情勢を見ますと、交通事故死者全体に占める高齢者の割合は高い水準で推移しており、本年についても約4割を高齢者が占めている状況にあります。

このため県警察としては、交通死亡

事故をこれ以上発生させないという強い信念のもと、「歩行者」と「高齢者」をキーワードに、道路を横断する際は横断歩道を利用するといった基本的な交通ルールに加え、夜間は反射材を着用することなどについて、あらゆる広報媒体を活用した広報啓発活動や高齢者を対象とした交通安全教室を実施しているほか、横断歩道における歩行者優先の定着に向けた横断歩行者妨害違反取締りや生活道路における可搬式速度違反自動取締装置を活用した速度違反取締り等を積極的に推進しているところであります。

皆様には、ドライバーを含めた全従業員に、横断歩道における歩行者優先の徹底と安全速度の励行を浸透・定着

させていただきます。併せて、本年4月に導入された運転前後のドライバーに対する目視等による酒気帯びの有無の確認に加え、本年10月からはその確認にアルコール検知器を用いることとさせていただきますので、この制度を有効に活用し、「飲酒運転をしない・させない」という環境を確立していただくようお願いいたします。

皆様も御承知のとおり、本年も9月21日から子供と高齢者を始めとする歩行者の安全確保

- 夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶
- 自転車の交通ルール遵守の徹底
- 二輪車・原付車の交通事故防止 (奈良県重点)

を運動の重点とする「令和4年秋の交通安全県民運動」が実施されます。

県警察としては、本運動を交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼び掛ける絶好の機会と捉え、交通安全の理解を深める交通安全教育やあらゆる広報媒体を活用した広報啓発活動に加え、交通事故抑止に資する交通指導取締りを強力に実施してまいります。

皆様におかれましても、本運動の趣旨や警察の取組について、御理解をいただき、引き続き、各事業所における安全運転管理の徹底をお願いいたします。

## 事業所訪問

総合設備を歡変える！！  
株式会社アイワ

(北葛城郡王寺町)



代表取締役社長の森近浩規さん（左）と取締役の上田雅彦さん（右）

従業員が常に丁寧な運転を心がけるよう  
日々の安全運転指導を徹底する

株式会社アイワは昭和44年5月に設立しました。当社は、住宅設備工事の会社として、主にお得意先のハウスメーカーが建築される戸建て住宅の新築及びリフォームに伴う設備工事全般を担っています。具体的には、ガスをはじめ、水道・電気・床暖房にくわえて、近年はエネファーム・太陽光発電と幅広い住宅設備工事を遂行しています。これからも地域の皆様にも、質の高い住まいを通して、喜びをご提供できるように努めてまいります。

●従業員が安心して運転できる  
環境づくりに努める

当社は、社有車を現場活動と営業活動で使用しており、出勤前に体温と体調をチェックし、出発時と帰社時にはアルコールチェックを行い、飲酒運転防止を徹底しています。

また、車両の日常点検を毎日実施することで車両の整備が行き届いているかをしっかりと確認しています。

車両に関しては、日常点検にくわえて、メンテナンス契約による定期的な点検を実施しています。業務上、必要不可欠である車両を、定期的にメンテナンスすることで、従業員が安心して運転できる環境づくりを行っています。

●新入社員、マイカー通勤者への  
安全運転管理

新入社員が社有車を使用する際には、先輩社員が同乗して、注意すべき点などをアドバイスしています。新入社員のなかには、入社してから免許を取得した人など、運転経験が少ない人もいるため、顧客先まで単独で運転をしても問題ないと先輩社員が判断するまで丁寧に指導を行っています。

また、従業員の多くはマイカー通勤をしているため、運転免許証、車検証、任意保険証券を毎年確認しており、とくに運転免許証に関しては、コピーではなく現物での確認を行っています。

## 事業所訪問



▲「NAK」を回覧をし、安全運転に関する理解を深めている

▼昨年の「無事故無違反チャレンジ・123」に参加し、表彰を受ける



◀従業員が安心して働くことができる環境づくりに努めている

### ●全体朝礼や機関誌「NAK」の回覧で安全への意識づけを図る

当社では、毎日の各ミーティングで、運転に関する注意事項や現場での注意点を指導するとともに、月に一度の全体朝礼において、事故事例の共有や再発防止策などを周知して、安全への注意喚起に役立てています。

くわえて、安全意識向上の取り組みのひとつとして、機関誌「NAK」を従業員に回覧しています。言葉による安全運転指導は、ミーティングや朝礼で行っていますが、言葉だけではどうしても伝わりにくいこともあります。

そのため、「賤いの日々」「あなたの危険感受度をチェックしよう」などを従業員一人ひとりに回覧してもらい、安全への理解をより一層深めています。

今後も安全運転への意識づくりのため、多角的視点からアプローチするよう努めていきます。

### ●安全と健康に関する活動に主体的に取り組む

当社では、西和地区安全運転管理者協会主催の「無事故無違反チャレンジ・123」に2013年から参加をしています。これまで毎年、複数チームが期間中の無事故無違反を達成し、表彰

を受けました。

今後も安全に関する活動へ主体的に参加し、従業員の安全への意識向上につなげていきたいと思えます。

また、従業員の健康づくりにも注力しており、2019年に協会けんぽ奈良支部主催の「職場まるごと健康チャレンジ」に参加をして、金賞を受賞しました。

くわえて、健康経営優良法人（中小規模法人部門）に2020年から3年連続で認定を受けています。

これは健康への取組みが認められた結果であり、今後も健康への取組みを積極的に行い、従業員が働きやすい会社づくりを目指していきます。

### ●一人ひとりが丁寧な運転を意識する環境づくりを

安全運転に関して何より大切なことは、一人ひとりが常日頃から丁寧な運転を心がけることだと思います。

しかし、若い従業員などは運転経験も少ないこともあり、最初から当事者意識を持つことは難しいと考えています。

そのため、これからも安全運転に役立つ知識や情報の周知を、日々反復して行い、一人ひとりに当事者意識を持ってもらえるように、会社全体で努めていく決意です。